

おおむた 市議会だより

第209号

令和元年度
臨時会・6月議会

令和元年(2019年)8月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成26年度以降

スマートフォン
タブレットでも
見れるようになりました。

元気に遊ぶ天領保育所の子どもたち

【主な記事】

- 羽ばたく大牟田へ新体制スタート／ぎかいの話題(2・3ページ)
- 議会報告会を開催します／おおむた自慢(12ページ)
- 議会改革度ランキングは連続県内トップ

ぎかいの話題

24人が一丸となって
開かれた議会を目指します

羽ばたく大牟田へ

平成31年4月21日に行われた大牟田市議会議員選挙において、24人の市議会議員が選出されました。任期は5月2日から4年間です。

5月17日に臨時会を開き、正副議長選挙を初め、常任委員会及び特別委員会の構成を決めるとともに、各委員会の正副委員長を選出しました。



新たに選出された大牟田市議会議員と正副市長

(写真左上から 敬称略)塩塚敏郎(公)、北岡あや(無)、桑原誠(自)、山口雅夫(無)、山田貴正(無)
山田修司(公)、森遵(自)、中原誠悟(自)、平嶋慶二(護)、崎山恵子(無)、森竜子(自)、江上しほり(無)
三宅智加子(公)、徳永春男(自)、城後徳太郎(自)、森田義孝(護)、平山伸二(公)、光田茂(自)、島野知洋(自)
平山光子(護)、藤井利幸副市長、大野哲也副議長(公)、中尾昌弘市長、境公司議長(自)、甲斐茂利副市長、松尾哲也(護)、古庄和秀(護)

※(自)：自民・未来クラブ、(公)：公明党議員団、(護)：社民・国民民主・護憲クラブ、(無)：無所属



境 公司
議 長

第37代大牟田市議会議長に就任させていただきました。議会基本条例の制定後、議会報告会の実施などに取り組んでいますが、さらに市民の皆様の期待に応えるべく、議員一同、研鑽し頑張る所存です。

本市の課題は多岐に渡っており、解決に向け、議員一人一人の能力を高め、会派の垣根を超えて一団となり頑張ります。

①71歳 ②岩本 ③学生時代ラグビーをやっていたのでスポーツ全般に渡るスポーツ観戦 ④今、生かされているのなら、人のために役立てるように ⑤自然環境に恵まれ災害が少ないところ ⑥人の話は充分に聞くようにしているが、短気な所もある。



大野 哲也
副議長

第43代の大牟田市議会副議長に就任させていただきました。境議長を補佐し、議員がまとまることによって、市民の皆様の期待に答えられるように、力を尽くし議会の円滑な推進に努めてまいります。

皆様から選ばれた議員24名が力を合わせ、市民の安心安全とこれからの大牟田の発展に寄与できるよう取り組んでいく決意であります。

①57歳 ②宮崎 ③映画鑑賞 ④『苟(まこと)に日に新たにせば、日々に新た、また日に新たならん』
⑤人もまちも熱く、エネルギーで、魅力的な人が多いところ ⑥長所は食べ物の好き嫌いが全くないこと。おかげで最近少し体重増加気味なので、運動して痩せたいと思います。がんばります。

新体制スタート

委員会のメンバー構成及び所管事項

～委員会は2回にわたって紹介します～

今回は、常任委員会を紹介します。

大牟田市議会では、3つの常任委員会があり、議案をはじめ行政の取り組みを専門的に詳しく審査・調査する機関です。議員は全員、常任委員会に所属します。



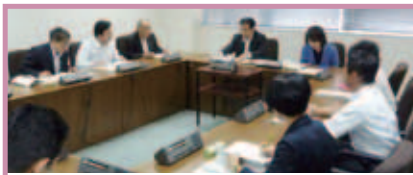
総務委員会

【委員長】古庄和秀

【副委員長】森遵

徳永春男、中原誠悟、大野哲也、平嶋慶二、山口雅夫、江上しほり

企画総務部、会計課、市民部、消防本部、市議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局の所管に関する事項の審査・調査を行います。



市民教育厚生委員会

【委員長】塩塚敏郎

【副委員長】平山光子

桑原誠、島野知洋、境公司、三宅智加子、松尾哲也、崎山恵子

市民協働部、教育委員会、保健福祉部、福祉事務所、保健所の所管に関する事項の審査・調査を行います。



都市環境経済委員会

【委員長】光田茂

【副委員長】平山伸二

城後徳太郎、森竜子、山田修司、森田義孝、北岡あや、山田貴正

都市整備部、企業局、環境部、産業経済部、農業委員会事務局の所管に関する事項の審査・調査を行います。

議員のよこ顔(その1)

今回から全議員を本紙に掲載して紹介していきます。境議長、大野副議長は前ページでの紹介とします。



江上しほり
議員

①43歳 ②柿園町 ③料理、ピアノ、囲碁、バレーボール ④チャレンジしての失敗を恐れるな。何もしないことを恐れる ⑤人の温かさ、三池港の美しい夕陽 ⑥チャレンジ精神・すべてに学ぶ心・チームワークを大切に何事にも全力で取り組むところは長所だと思いますが、頑張りすぎてしまうこともあり、短所かなあと思うこともあります。



桑原 誠
議員

①47歳 ②天道町 ③魚釣り他 ④「愛郷無限」「努力は必ず報われる」 ⑤人が温かくて親切なところ。 ⑥長所であり短所なところですが、思ったことをあまり曲げません。



北岡 あや
議員

①44歳 ②宮部 ③狭く暗いところで本に読みふけること、目的のないひとり旅 ④地味に地道に ⑤どんな人も受け入れる地域や街の空気、夕日に染まる有明海 ⑥長所はよくもわるくも「議員」にみられないこと、短所は整理整頓ができないこと、人前でしゃべることが苦手、車酔い、船酔いがはげしい。



崎山 恵子
議員

①56歳 ②三池 ③庭仕事・畑仕事 ④学ぶことは変わる ⑤大牟田は歴史に残る労働者の闘いのまち。手をつなぐ大切さを教えてくれたまち。温かな人間関係が大好き ⑥長所は、根気強いこと。諦めが悪いとも言えます。短所は、せっかちノロマなところ。のんびりしすぎて、結局は最後にドタバタします。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■新たな議員構成決まる

臨時会

令和元年度臨時会は、5月17日に招集され、1日間の会期で運営しました。

本臨時会では、一般選挙後の最初の議会であるため、議長・副議長の選出、議席の指定、常任委員・議会運営委員の選任、大牟田・荒尾清掃施設組合議会議員の選出などを行いました。

審議した議案3件、発議1件については、それぞれ承認、可決、同意して、本会議を閉会しました。

■令和元年度大牟田市一般会計補正予算などを可決

6月議会

令和元年度6月議会は、6月10日に招集され、6月21日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、小規模多機能型居宅介護事業所等を開設する法人に対する補助、消費税率の改定に伴う臨時・特別給付金の給付のための経費、次世代のESDを担う人材の育成の経費など9,576万2千円を追加する一般会計補正予算議案1件、健康福祉推進会議の設置、森林

環境譲与税基金などに係る条例議案10件、調停の申立て2件、農業委員会委員の任命などの人事案件2件、意見書案の6件及び予算の繰越しに関する報告など9件の計30件でした。

本会議では、庁舎整備、公共交通空白地域、教職員の働き方改革など諸課題について、10人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議3件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌（4月～6月）

【4月】

11日 広報広聴委員会広報部会

【5月】

17日 第1回臨時会本会議、議会運営委員会、総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、広報広聴委員会、まちづくり・活性化特別委員会
22日 議会運営委員会
23日 都市環境経済委員会
27日 総務委員会、都市環境経済委員会
28日 市民教育厚生委員会、広報広聴委員会広報部会
29日 総務委員会、市民教育厚生委員会
30日 総務委員会、都市環境経済委員会
31日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会

【6月】

3日 各派代表者会、議会運営委員会
6日 総務委員会、都市環境経済委員会
7日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、広報広聴委員会広報部会
10日 第2回定例会本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
14日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕
17日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕
18日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
19日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、広報広聴委員会広報部会
21日 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔採決、閉会〕、総務委員会、広報広聴委員会広報部会
27日 総務委員会
28日 広報広聴委員会広報部会、広報広聴委員会

インフォメーション

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局（41-2800）までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成26年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで9月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名			自民・未来クラブ							公明党議員団				社民・国民民主・護憲クラブ				無所属					賛 成 数	審 議 結 果			
			徳永春男	桑原誠	境公司 (議長)	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂	森遵	森竜子	三宅智加子	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	江上しほり			北岡あや	崎山恵子	山口雅夫
6月議会	発議第2号	消費税10％への増税に反対する意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	7	少数否決
	発議第3号	沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	7	少数否決
	発議第4号	脱原発社会の実現を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	7	少数否決
	発議第5号	労働者協同組合法案の早期制定を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	12	多数可決
	発議第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	12	多数可決
	議案第7号	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	21	多数可決
	議案第8号	大牟田市健康福祉推進会議条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	21	多数可決
	議案第9号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	21	多数可決
議案第12号	大牟田市動物園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	21	多数可決	
議案第13号	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例の一部を改正する条例について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	21	多数可決	

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意

臨時会	議案第1号	専決処分について（平成30年度大牟田市一般会計補正予算）
	議案第2号	専決処分について（大牟田市市税条例の一部を改正する条例）
	議案第3号	大牟田市監査委員の選任について〔松尾哲也議員〕
	発議第1号	大牟田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
6月議会	議案第4号	令和元年度大牟田市一般会計補正予算
	議案第5号	大牟田市森林環境譲与税基金条例の制定について
	議案第6号	大牟田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について
	議案第10号	大牟田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第11号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第14号	大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第15号	調停の申立てについて（平成29年度大牟田市手鎌北町公園外86公園維持管理業務委託）
	議案第16号	調停の申立てについて（平成30年度大牟田市三池公園外49公園維持管理業務委託）
	議案第17号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔池端祥久氏〕
	議案第18号	大牟田市固定資産評価員の選任について〔黒田省二氏〕
	発議第7号	信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書案

代表質問

大牟田市が取り組むべき大きなプロジェクトの優先順位は



自民・未来クラブ
徳永 春男 議員

本庁舎の現地建て替え案（基本方針案）と笹林公園内新庁舎建設との比較検討が必要

問 市庁舎問題が、今の本市が取り組むべき最優先課題という認識か。

答 新栄町駅前地区市街地再開発事業や市民体育館の建て替えなどの優先課題もあるが、庁舎整備は、現在、議論が広まっているこの時期に方向性を決めることは大事と考え、優先すべき事業の一つとして捉えている。

問 現地建て替えとする基本方針案と、笹林公園内への新庁舎建設との比較検討が急務と考えるが、どうか。



笹林公園

答 笹林公園に新庁舎を建設する場合、仮移転が不要で、業務を続けながら整備ができる大きなメリットがある。

しかし、現地は4mの高低差があるため造成、取り付け道路・駐車場・代替公園の整

備や既存庁舎との連続性の課題がある。

庁舎の位置については、今後実施予定の市民アンケート中で、仮に現在地を支持しない場合

は、笹林公園を含めた他の敷地も選択できる形としている。

三池校区の交通空白地域解消は急務で迅速な対応が望まれる

問 令和2年度実施目標の三池校区の公共交通空白地域の解消に向けた取り組み状況は。

答 今年度に、地域住民へのアンケート調査（三池校区の65歳以上）を実施し、ニーズや移動実態の把握を8月末をめどに取りまとめる予定。その後、地域住民や交通事業者等と協議調整を行い、最適な交通手段を検討し、来年度実施に向けて取り組みたい。

有明圏域定住自立圏共生ビジョンにおける中心市としての役割

問 同ビジョンの取り組み項目における事業の検証は。

答 同ビジョンに掲げる取り組み項目は、首長及び議長を構成メンバーとする有明圏域定住自立圏推進協議会で毎年、進捗管理を行っている。

平成29年に、総務省よりKPI（重要行政評価指標）が求められ、これに基づく進捗管理と目標達成の取り組みを進めている。

同協議会では、このKPIの達成状況を報告した上で、事業展開に関する意見交換がなされており、必要に応じて事業内容の見直しなどを行う。

少子化及び人口減少対策の取り組み

問 人口減少対策の3本柱（子育て支援、教育の向上、産業の多様化と雇用の場の確保）による政策の手応えは。

答 子育て支援では、本市独自の保育料の減免、子ども医療費助成制度の拡充、子育て世代包括支援センターはぐはぐOomutaを開設し、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行っている。

教育の向上では、本市全ての市立学校がユネスコスクールに加盟し、地域の特色に合わせたESDを推進している。

産業の多様化と雇用の場の確保では、平成27年の12月からこれまでに延べ32社の新規立地及び増設、464人の雇用の創出を図った。

地区公民館における社会教育の重要性を問う

問 地区公民館では、担当校区でどのような方針で社会教育が行われているのか。

答 平成10年度策定の公民館事業基本方針を社会教育の取り組み方針としている。

具体的には市民のニーズや社会の要請による各種講座の実施、成果の発表の場の創出や地域情報の発信などの取り組みを行っている。

今後の100年を見据えたまちづくり



公明党議員団
三宅 智加子 議員

ただいた。移住・定住を促進するため、移住関連フェアや国・県の移住関連ホームページなどを通じて引き続き情報発信に努めたい。

運んでいる市内の食品会社等の事例もあると聞く。市内の食品関係の企業などとも連携強化を図ってもらいたい。



子ども食堂

令和の時代を迎えたまちづくり

問 市長は、就任時「大牟田の再生は、議会をはじめ市民の皆さんとの相互の信頼と協力関係があってこそ実現できる。」と言われ、職員に二つの実践を求められた。その取り組みと課題について聞きたい。

答 みずから積極的に住民の方々に働きかけていく努力を惜しまないことと、情報発信を常に念頭に置きながら、一つの事業として捉えてやっていくことを職員に求めてきた。

様々な研修の成果として浸透しつつあるが、まだ十分ではない。これから未来の大牟田のまちづくりを担う職員の育成に取り組んでいきたい。

問 移住・定住の取り組み、お試し居住の現状について聞きたい。

答 平成30年度は一軒家を賃借し、本事業を実施した。26組の問い合わせに対し先着で19組43名に大牟田での生活を体験していただいた。この中から5組の方が移住を決定され、本事業を通して大牟田の魅力を知り好印象をもって

食品ロス削減推進法

問 まだ食べられる状態で捨てられる食品ロスの削減を目指す「食品ロス削減推進法」が成立した。食品ロス削減の推進に関する計画を定めるよう努めることになっているが、本市はどう取り組むのか。

答 今後策定される国の基本方針を踏まえ、本市のごみ処理基本計画との整合を図りつつ、策定について検討したい。

問 大牟田市社会福祉協議会を中心に取り組まれているフードバンク活動や民間のフードバンクとの連携を図ること、本市としても食品ロス削減につながることから、子ども食堂や生活困窮者への提供をすべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 フードバンク活動などを通じて、子ども食堂、生活困窮者等に未利用食品等が提供されることは、食品ロス削減につながるだけでなく福祉的な観点からも有効な取り組みであると考えている。

再発言 本市にフードバンクがあることを知らず、他市に

大牟田市教職員の働き方改革取組指針

問 教育勤務実態調査（平成28年度）の集計で、見過ごすことができない教職員の勤務実態が明らかになっている。指針の目的と取り組みについて聞きたい。

答 指針の目的は、①教職員がワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実現し、健康でやりがいを持ち働くことができる環境を整備すること、②教職員が子どもと向き合う時間を十分確保し学校教育の質を維持向上させること。

取り組み内容は、①ICTによる客観的な勤務時間の把握、②定時退校日の拡大や学校閉庁日の設定、③授業準備等の支援のための教材や指導案等のデータベース化、④部活動休養日の拡大、⑤教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用などがある。

再発言 子どもたちに一番近い教育環境である教職員が、生き生きと専門性を生かして教育現場に立てるような働き方改革を進めてもらいたい。

代表質問

市庁舎整備は、建て替え前提ではなく様々な方法の検討を



社民・国民民主・護憲クラブ
平山 光子 議員

市庁舎整備基本方針案の
説明や進め方は納得できない

問 昨年度第4回定例会において、庁舎整備に関係した予算案と条例案の2件について、それぞれ修正または否決といった重い決断をした。これを当局は重く受け止めていると言うが、方針案の説明や進め方に納得できない。指摘されて地区公民館の市民説明会を増やすなど、市民への説明を軽視しているのでは。

答 指摘を受け、市民へ十分な説明を果たすべく4月から地域に入り、各団体へも打診し、地区公民館でも説明会を行っている。

問 耐震改修された佐賀県庁や戸畑図書館を視察したが、機能も改善され素敵に改修されている。改修は20年後に再検討が必要で、建て替えは75年使用が見込めるという試算の根拠は何か。

答 このような考えが一般的で、本市の公共施設維持管理計画でもそう示している。

再発言 他市では、建て替えよりも耐震改修の方が経費を抑えられるとする事例が複数

ある。話を伺った複数の専門家も同じ事を言われる。市民説明会で、財源を心配する市民に「積算はアバウトな数字」と説明し、その試

算で将来負担は建て替えの方が少ないとして市民に判断を求めており、納得できない。

問 庁舎整備検討委員会の大森委員長が「委員会の答申が反映されていない」と異例の抗議をされたことは、個人的なご意見という受けとめだが、委員会の摘録では不明。議事録を議会に示してほしい。

答 議事録全体の公表については内部での検討が必要。

問 都市計画マスタープランには「駅周辺等の市の玄関口では風格とにぎわいの中にも秩序が感じられる街並み景観を保全・創出」とある。また、景観計画にも「景観資源は私たちの共有財産。宝となる景観資源の多いまちは市民の心を豊かにし、地域経済活動の活性化に寄与」とある。

市長は、なぜその資源である本館を保存することを前提に整備方法を考えないのか。



市庁舎 本館

答 残したいという気持ちは共通しているが、将来負担を考えて基本方針案を示した。

再発言 急がなければならない課題だが、本市財力の身の丈に合ったやり方をもっと検討してもらいたい。

消費税増税で市民生活は
さらに困窮

問 今年10月、市民生活に大きく影響する消費税が10%に引き上げられる予定だが、市民福祉の向上を預かる首長として、市長の見解は。

答 持続可能な社会保障制度確立のためにも消費税の税率改定は基本的に必要と考える。

再発言 5%から8%に引き上げられた年度の増税分約5兆円のうち社会保障の充実に使うとされたのは5,000億円。日本の消費税は、国税収入の約3割を占め、今でも重税であり、低所得者ほど負担が大きい。市長には市民生活の立場から声を上げてほしい。

教職員の働き方改革

問 教職員の働き方改革取組指針が策定されたが、取り組みへの教育長の意気込みは。

答 教職員が健康で意欲と能力を最大限発揮できることと、教育の質の維持向上を目指す。PTA、地域組織、関係団体等への説明や広報紙等での周知に努め、改革を進めたい。

再発言 現場の声をしっかりと聞き、実効性のあるものにしてもらいたい。

一般質問



自民・未来クラブ
光田 茂 議員

東京2020オリンピック

問 聖火リレーが大牟田市にやってくること、キャンプ地誘致に対する市長の所感を聞きたい。

答 聖火リレーの開催都市に選ばれ、市民が直接見ることができるチャンスに恵まれた。一人でも多くの市民が聖火ランナーとしてオリンピックにかかわることは、本市のスポーツ振興と活性化につながると考える。また、キャンプ地誘致は、相手国と練習会場視察の最終調整を行っており、着実な取り組みを進めていく。

超過税率の解消

問 他市より高い固定資産税

の超過税率は、移住・定住や企業誘致等において、本市が選ばれるまちとなるためにも将来的に解消すべきと思うが、市長の考えを聞きたい。

答 固定資産税の超過税率については、解消に向けて取り組んでいかなければならない非常な大きな課題と認識しているが、財政構造の抜本的な改善がされない中で、収支均衡が継続できるような代替財源となり得る安定的な財源確保が必要であり、非常に難しいと考える。



公明党議員団
山田 修司 議員

教職員の働き方改革

問 保護者、地域にどのようなことができるか。

答 教職員の働き方改革は、社会全体として取り組んでい

く必要があることから、今後、本年4月に策定した指針をもとに教育委員会、学校、関係団体で内容を協議しながら、保護者や地域の方の協力もお願いして、教職員の働き方改革を進めていきたい。

子どもの安心・安全

問 相次ぐ子どもが巻き込まれる事故。保育園等の対応は。

答 保育所外や園外での活動における移動経路の安全性や職員体制など、再確認を含め

た取り扱いの徹底を図るよう、周知を行った。

問 同じく、小中学校等の対応は。

答 保護者や地域見守り隊の方々と連携し、登下校時の見守り活動の強化をお願いして、警察の協力によるパトロール強化など、子どもたちの安全確保に最善を尽くしている。教育委員会としても、子どもたちの大切な命を守るために、今後も引き続き関係機関との連携を図って、安全教育の充実と安全確保に努めたい。



社民・国民民主・護憲クラブ
森田 義孝 議員

ふるさと納税新制度への本市の対応

問 ふるさと納税の新制度が6月1日にスタートした。

返礼品を「モノ」重視から体験型の「コト」メニューに

シフトし充実するなど、九州各県では早くも知恵比べが起きている。本市の対応は。

答 6月1日に返礼品をリニューアルし、観光列車のペアチケットや県認定の地域資源を使ったものなどを追加した。本市の魅力発信や地域産業の発展につながる取り組みと寄付額の向上に努めたい。

第5次総合計画「まちづくり総合プラン」の成果と課題

問 未来に夢を持てる明日の大牟田づくりと選ばれるまち

に向けたシティプロモーション戦略が重要だが、まちづくり総合プランの成果と課題は。

答 保育料軽減、ESD推進、企業誘致の施策等は、着実に推進しており、引き続き人口減少抑制に向け取り組みたい。財政は厳しく、より有効性の高い事業への重点的な投資が必要。大規模事業は今後のまちづくりの観点で、しっかり検討し進めたい。

再発言 第6次総合計画には、選ばれるまちづくりの事業を盛り込まれることを要望する。

一般質問



自民・未来クラブ
森 遵 議員

市庁舎整備

問 今の企業局庁舎は、耐用年数が残り40年、延べ床面積が約4,000㎡。新庁舎の建築費は、1㎡当たり50万円で試算

されているので、企業局庁舎を活用することで、新庁舎の延べ床面積を3,000㎡減らすことができれば15億円、半分の2,000㎡でも10億円の建築費が減る計算になる。新庁舎を笹林公園に建てれば、企業局庁舎を利用することができるが、検討できないか。

答 笹林公園に建てた場合は、その他の既存の建物との往来に支障が出たり、40年後に4,000㎡分の庁舎を増築することが前提となる。

そういったコストも含めて、

長期的な視点での検討も必要となる。

問 代替公園については、学校跡や再編予定の学校もある。段差については、現在の立体駐車場の2階部分とは、ほとんど段差はない。また、本館の取り扱いも、少し余裕を持って決められる。こちらがいいとは言いきれないが、検討に値するのではないか。

答 前提条件が違うので、検討の余地はあると思うが、本館を結論が出るまでそのままにしておくのか、課題は残る。



社民・国民民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

市庁舎整備

問 市民説明会での意見は。市民理解は深まったのか。

答 2月の説明会では本館を残すか、建て替えるかという

両極端な意見が多かったが、6月の説明会では庁舎を別の用途で活用する意見など多様な意見がふえ、市民理解は徐々に深まっていると考える。

問 本館を残すべき・建て替えるべきという両方の意見を聞く公開討論会を市の主催で行ってはどうか。

答 現在実施している説明会でも多様な意見を聞く役割を一定果たしていると考えている。

問 本館等を耐震改修し、費用を抑えた新庁舎を建設するケースや、学校再編後の施設

や民間施設を活用した行政機能分散型のケースも選択肢としてはどうか。

答 庁舎が備えるべき機能の一つとして、来庁者にわかりやすく効率的に市民サービスを提供できる機能を掲げており、可能な限り庁舎の機能は集約をする必要があると考えている。

再発言 大牟田には世界遺産も国の登録有形文化財もある。本館の耐震改修や利活用を考え、温故知新のまちづくりを目指すべきと思う。



自民・未来クラブ
中原 誠悟 議員

企業誘致

問 企業誘致は着実に進んでいるが、次の受け皿となる新たな産業団地などの整備検討も必要ではないか。

答 さらに産業団地の整備については、企業の進出状況を踏まえた上で検討したい。

大雨災害の備え

問 県が浸水想定区域を見直しているが、何を基準に、どう変わったのか。

答 九州北部豪雨と同規模の雨量で検討され、従前より区域は約2.1倍に広がった。

問 浸水の深さ表示も変わっているが、なぜこのように変わったのか。

答 深さ表示は四つの区分に分けられ、避難する際の判断の参考となるよう見直された。

問 見直された浸水想定区域を、今後どのように周知し、また活用していくのか。

答 周知については、地域の会議などで説明し、個別にも対応している。広報おおむた7月1日号にも掲載予定。

活用については、垂直避難をする際の判断の参考になる表示区分となっており、重要な資料として避難対策のシミュレーションにも役立てたい。

一般質問

を確立するためにも必要。

教育費の保護者負担の軽減を

問 憲法26条の「義務教育の無償」は、授業料と教科書。それ以外は保護者任せで大変な負担。まずは給食費の一部助成から検討するべきでは。

答 義務教育の無償化は国が行うべき。市のほうで一部助成というのは、非常に厳しい。

再発言 無償化対象を教材費や給食費に拡げるのは、憲法26条の趣旨に沿うと考える。



無所属
崎山 恵子 議員

介護職の賃金アップを

問 介護職は働きがいのある魅力ある職場だが、大変な人手不足の状態。

市内の介護職賃金、処遇実

態を緊急調査し、正しく認識する必要があるのでは。

答 介護サービス事業者協議会とも、検討してまいりたい。

問 介護職員の処遇改善加算を取るための研修事業を市が負担するなど援助できないか。

答 新人職員研修を年に1回開催するなど、今後も事業者協議会を通じて行いたい。

低所得者ほど負担の重い消費税増税反対

問 消費税増税への見解は。

答 持続可能な社会保障制度

委員会メモ・トピックス

委員会メモ

庁舎整備について

【総務委員会】

6月21日の委員会で、委員間討議が行われ、当局に対して、庁舎整備に関する意見・要望、質問・研究事項、及び庁舎整備に関する基本方針（案）のアンケート調査実施についての協議結果を申し入れました。

中学校再編の方向性示される

【市民教育厚生委員会】

7月2日の委員会で、学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画案について説明を受けました。

今後は、計画案の公表後、関係団体、PTA等への説明、地域説明会やパブリックコメントが実施され、10月下旬に第2期実施計画が公表される予定です。

大牟田駅西口の機能充実

【都市環境経済委員会】

6月7日の委員会で、大牟田駅西口の機能強化やにぎわい創出、おもてなし対応など各種事業を進めているとして、路面電車204号の今後の活用、マルシェの開催及び観光クーポン券発行事業等の状況について説明を受けました。

6月第二日曜日は「花の日」

高取聖マリア幼稚園から、キリスト教では6月第二日曜日が花の日とされているとして、議会に花が贈られました。園児の元気いっぱいの笑顔とあいさつが印象的でした。



永年勤続表彰伝達式

6月11日の全国市議会議長会第95回定期総会において、3人の議員が永年勤続表彰を受け、その表彰伝達式を6月21日に議場で行いました。

■表彰議員
【議員20年以上】
松尾哲也議員
高口講治前議員
（高口前議員は当日欠席）

【議長4年以上】
境公司議長



令和元年度 議会報告会を開催します！

本年度で9回目となる議会報告会を下表の日程で開催します。
市民の皆さんから直接ご意見をいただく貴重な機会としています。
議会報告会の前半では「大牟田市庁舎の整備について」、後半では
「市議会として30年度に取り組んだ主な事例等」を報告する予定です。
ぜひお近くの会場へお越しください。



昨年の手鎌地区公民館

大牟田市議会議会報告会開催日程・会場

開催日	時 間	会 場	主な対象校区
8月1日(木)	午後7時～8時30分	手鎌地区公民館	明治、手鎌
8月2日(金)	"	吉野地区公民館	銀水、上内、吉野、倉永
8月5日(月)	"	大正小学校体育館	大正、中友
8月7日(水)	"	労働福祉会館	大牟田中央
8月19日(月)	"	勝立地区公民館	天の原、玉川
8月20日(火)	"	駿馬地区公民館	駿馬
8月21日(水)	"	三池地区公民館	高取、三池、羽山台
8月23日(金)	"	三川地区公民館	みなと、天領
8月24日(土)	午後2時～3時30分	総合福祉センター	白川、平原

※各会場とも駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等でお越しください。
※手話通訳及び要約筆記は、全会場で行う予定です。

議会改革度ランキングは連続県内トップ！

議会改革度ランキングとは、早稲田大学マニフェスト研究所が全国の地方議会に対し依頼し回答があったアンケートをもとに①情報共有、②住民参加、③機能強化を点数化し順位を発表しているものです。

アンケートには全国1,447議会（回答率81%）が回答し大牟田市議会は全国で77位、九州・沖縄地区7位、福岡県内では前年度に続き1位となりました。

議会の取り組みとしては、議会報告会のテーマにもあげ

ております「市庁舎整備に関する事業費」について、市民への十分な説明ができていないことやさらなる検討が必要であるとして、関連予算を認めず条例案を否決しました。

その後、6月定例会での質疑質問や委員会審査等を経て、企業局庁舎を活用し笹林公園への建て替えを行う案の試算、本館を耐震改修した場合について専門家をふやすなど多方面からの意見を聴取し検討すること等の申し入れを行いました。

このため、6月に予定されていた基本方針案のアンケート調査実施についても、申し入れに対する当局からの回答後、議論が一定尽くされた段階で、実施の是非も含め検討するよう求めました。

これは議会の取り組みの一例ですが、市民とともに考え行動する地方分権の時代にふさわしい議会のあるべき姿を念頭におきながら、今後も議会機能の充実・強化を図り、市民福祉の向上に取り組みます。

編集後記

新しいメンバーで議会がスタートしました。新たな広報広聴委員会広報部会が発行する最初の号となります。これからも、議会の動きをより分かりやすく、親しまれるような紙面となるよう頑張っております。皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。（S）

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 精巧印刷株式会社